

三重大学広報誌

# 三重大 X

[えっくす]

## CONTENTS

〈ホットNews〉  
三重大学の挑戦  
～改革から5年～  
01…04

〈特集〉  
輝くOBII  
05…10

〈プロジェクト〉  
リサーチセンター  
11・12

〈プログラム〉  
地域イノベーション学研究科  
13・14  
ダブルディグリー  
15・16

気になるNews  
17・18

スポット／クラブ・サークル  
19・20

表彰／本の紹介  
21・22

お知らせ  
23…25

歴史街道シリーズ  
26

ホットNewsは

# 三重大学の挑戦 ～改革から5年～

地域とともに生きる



vol.17  
2009 SPRING

三重大学

# 三重大大学の挑戦 改革から5年



三重大学講堂

2004年4月、  
三重大大学の  
挑戦が始まり  
ました



## 三重大大学のミッション

三重から世界へ：地域に根ざし世界に誇れる独自性豊かな  
教育・研究成果を生み出す。～人と自然の調和・共生の中で～

## 真に地域社会が求める人材を育成する

～教育目標「感じる力」「考える力」「生きる力」「コミュニケーション力」の4つの力～



▲環境報告書2008

法人化に際し、高等教育創造開発センターを立ち上げ、学生サービスの充実と教育改革にいち早く取り組みました。さらに、従来型の講義に加えて、PBL\*1型の授業に本学開発のeラーニングシステムを併用、4つの力の効果的な育成に力を注ぎました。学生が主体の環境ISOの活動を通じた環境教育は全国的にも評価され、また海外の大学とのダブルディグリー制度を導入するなど大学の国際化も進みました。この間、文部科学省の教育改革支援事業(教育GP)\*2を8件獲得したことは、本学の教育が高く評価された結果です。



▲天津師範大学とのダブルディグリーを記念して桜の苗木を寄贈

## 地域を再生するイノベーションを地域と共に生み出す



産学官連携を推進する創造開発研究センターを充実、キャンパスインキュベータの創設、産学連携講座や寄附講座の拡大、数多くの市や町と連携協定締結など、地域連携や産学官連携に力を注ぎました。地域との共同研究数、とくに中小企業との共同研究数はわが国のトップクラスとなり、さらに、三重大学伊賀研究拠点、独立大学院「地域イノベーション学研究科」の創設など、新しい地域連携の試みを次々と打ち出し、名実ともに地域を再生するイノベーションを地域と共に生み出す大学となりました。

## 運営から経営へ

教職員の意識を、単に定められた業務を行うだけの「運営」から、環境の変化に対して自らを変革して組織の永続を図る「経営」へと変え、トップから現場までPDCA\*3サイクルを回すことに取り組みました。中期目標・計画の遂行、業務改善活動による顧客満足度向上、業務の効率化、経費節減、事務組織の見直しや教職員の評価制度を導入。さらに、学長直属の監査室を創設し、業務の透明化を図り社会への説明責任を果たすとともに、国からの交付金が削減されるなかで外部資金の獲得に努力をしました。

## 発信力UP



広報室を創設し、住民から評価の高い「三重大学X」などの広報誌を発刊するなど、地域に対し大学の情報をさまざまなメディアを介して発信。その結果、マスコミによる報道件数も増えました。学長自らもトップセールスを心がけ、「学長ブログ」は、アクセス件数10万件を超えて、三重大学を地域の方々々に理解していただく大きな発信力となっています。

\*1 PBL (problem-based learningまたはproject-based learning)  
：学生が少人数で自主的に取り組む問題発見解決型教育・学習  
\*2 教育GP (Good Practice) : 文部科学省「優れた取り組み」の支援プログラム  
\*3 PDCA : Plan (計画)、Do (実施・実行)、Check (点検・評価)、Act (処置・改善)



学長、  
あつという間の  
5年間でしたね



第10代 三重大学長  
豊田 長康  
Toyoda, Nagayasu  
任期：2004.4.1～2009.3.31

# 改革から5年

三重大学では、法人化後  
様々な新しい取り組みや改革をしてきました。  
その内の一部をご紹介します。

### 2004

- 福島健部 理事・事務局長 (財務・経営担当)
- 森野健輔 理事・副学長 (研究担当)
- 山田康彦 理事・副学長 (教育担当)
- 亀岡孝治 理事・副学長 (情報・国際交流担当)
- 豊田長康 学長
- 海軍博物館と協定締結
- 和歌山大学と包括的連携協定締結
- 「三重大X」創刊
- 三重大学COEプロジェクトによる研究推進
- キャンパス・インキュベータ設立
- 事務職員向け目標チャレンジ活動スタート
- 統一アカウントシステムの導入

### 2005

- 三重大学「メディカルバレープロジェクト」と協定締結
- 国際交流センター設置
- キャリア支援センター設置
- 三重大学東京オフィス開設
- 女性総合診療外来開設
- 附属病院 オーダーメイド医療部設置
- 三重大学と災害対策相互協力協定締結
- 国際交流サロンオープン
- 高等教育創造開発センター設置

### 2006

- 三重大学振興基金創設
- 附属図書館で学術リポジトリをインターネットで発信
- 地震・津波避難訓練の実施
- 鈴鹿医療科学大学と協定締結
- 知的財産表彰制度創設
- 学内無線LANの整備 学内ネットワークのギガビット化
- 学術ポータルセンター設置
- 事務部門 チーム制導入
- がんセンター設置
- 歴史街道GIS運用開始
- 田中義三 監事

### 2007

- 三重大学産科オープンシステム運用開始
- 附属図書館 研究開発室設置
- 三浦春政 理事・事務局長 (総務・財務担当)
- 東 晋次 理事・副学長 (企画・評価担当)
- 奥村克純 理事・副学長 (研究担当)
- タイの協定大学との間で国際インターシップを開始
- 教職員証及び学生証のICカード化
- 災害派遣医療チーム(DMAT)創設
- 産科オープンシステム運用開始
- 経済産業省主管の「アジア人財育成事業」に採択
- 国際交流週間の開催
- FM三重で学生企画番組「CampusCUBE」開始
- 小林英雄 理事・副学長 (情報・国際交流担当)
- 改善活動推進グループ設置

### 2008

- 大規模災害 図上訓練実施
- 三重大学科学技術振興センター(三重県の試験研究機関等)と包括協定締結
- 三重大学 全学同窓会 設立
- 地域イノベーション学研究所 2009年4月開設
- 海外先進大学への教職員の派遣制度開始
- FM三重で「fの時間」放送開始
- 先端医療開発特区(スーパー特区)に指定
- 留學生宿舎建設
- リサーチセンター設置
- 松生安彦 監事

### 2009

- 外部資金獲得 報奨制度開始
- 法人評価・訪問調査終了
- 医師確保のため 医学部定員増 100名→110名→120名
- 内田淳正 学長 (青字は、2009年4月)
- 後藤正和 理事・副学長 (企画・環境担当)
- 登 勉 副学長 (広報・危機管理担当)
- 鈴木宏治 理事・副学長 (研究担当)
- 野村由司彦 理事・副学長 (教育担当)
- 中川 正 副学長 (教育担当)
- 加納 哲 副学長 (研究担当)
- 松岡 守 理事・副学長 (情報・国際交流)
- 松生安彦 監事

### 充実した教育環境

- 実践英語教育プログラムの実施 (TOEIC活用)
- eラーニング 「三重大学Moodle」を駆使したPBLの実施
- 保健管理センター拡充
- 学生なんでも相談室拡充

### 教育評価体制

- 修学達成度評価の実施
- 教育満足度調査実施
- 授業改善アンケート実施
- 卒業生・修了生および就職先事業所へのアンケート実施

### 運営基盤作り

- 経営管理や将来戦略の構築
- 戦略的人員配置、組織見直し、事務効率化・合理化
- 経費の抑制と外部資金・自己収入の獲得
- 事務組織改編

### 県・市・町との協力協定の締結

### 留學生受け入れ環境整備

- 機関保証制度の導入
- 英語による国際教育科目の開講
- 三重大学留学生会設立
- 国際交流特別奨学生制度開始
- 協定大学出身の大学院生を対象とした優遇制度新設

### 高等学校への教育支援

- 高大連携事業に関する協定(県教委)
- スーパーサイエンスハイスクール(SSH)
- サマーセミナーの実施
- 東紀州講座の実施

### 主な大型研究プロジェクト

- 炎症性血管病変による神経機能障害のメカニズムの解明
- 植物系分子素材の逐次精密機能制御システム
- 伊勢湾再生研究プロジェクト
- ヤママリンの各種誘導体の分子設計と合成
- 次世代真珠養殖技術とスーパーアコヤ貝の開発・実用化
- 冠動脈粥状硬化病変に対する先進的な非侵襲MRI診断法の開発
- パールの輝きで理系女性が三重を元気に
- 三重大学(三重・伊勢湾岸エリア) 新世代全固体ポリマーリチウム二次電池の開発と高度部材イノベーションへの展開
- 「特色ある優れた産学官連携活動を推進する実施機関」に採択される三重大学伊賀研究拠点の形成事業-サテライトキャンパスと地域振興-
- 地域・職域との連携による保健医療支援事業-地域・職域保健医療支援センターの設置と運用-

### ★主な教育プログラム

- 社会のニーズに即した人間性豊かな医師養成-地域社会を学びの場にして-
- 全学的な知的財産創出プログラムの展開
- 地域圏パイオ・メディカル創業人材の育成
- 地域と時代に応える医学・医療研究者の養成(臨床研究者養成プログラム、臨床研究地域プログラムによる実践的改革)
- 海外医学部と連携した臨床医学教育-世界に通用する臨床医学教育と国際社会で活躍する人材の育成を目指して-
- PBLチュートリアル教育の全学的展開
- 教育実践力の育成と学校・地域の活性化-中学校区全域との連携による学校・地域活性化モデル及び幼小中大学連携モデルの構築-
- 人材養成の目的を明確化した大学院教員改革-産業界や学生のニーズに応える高度専門技術者の育成-
- <医療系>国際推薦制度による留学生教育の実質化-生体侵襲ダイナミクスの国際的研究者養成-
- 三重大ブランドの環境人材養成プログラム-三重から世界へ-多様化する環境問題の改善に貢献できる環境スペシャリスト養成をめざした三重大モデルの構築と運営

### 地域社会の発展に貢献

- 三重大学が地域に与える経済効果は、428億円
- 毎年約300件のシンポジウムやフォーラム、講座を開催
- ★詳しくは、「三重大X vol.11」 「地域における三重大学の役割」参照

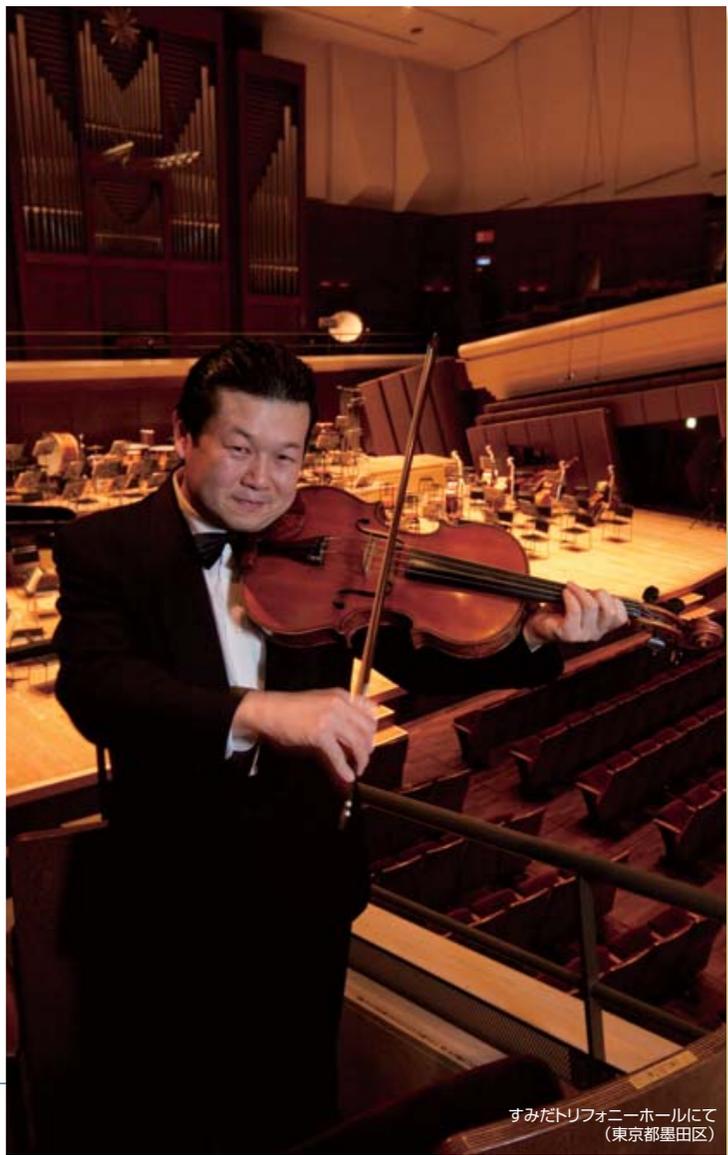
# 奏でる世界は無限大



**吉鶴 洋一**  
Yoshitsuru, Yoichi

鹿児島県生まれ。H01年三重大学教育学部卒業、愛知県立芸術大学大学院修了、読売音楽新人賞を受賞。その後松阪大学で後進指導の傍ら、各地のオーケストラに出演。H09年から新日本フィルに入団。現在に至る。

新日本フィルハーモニー交響楽団  
ヴィオラ&インスペクター



すみだトリフォニーホールにて  
(東京都墨田区)

## 原点は大学時代

鹿児島出身ですが、高校時代に小林秀雄さん作曲の「伊勢志摩」を合唱で歌ったことがきっかけで、三重県に興味を持ちました。大学時代は楽しかったですよ。総合大学なので、全ての学部生と交流を深めることができ、いろんな分野に興味を持つようになりました。夢は教師でしたが、恩師との出会いがあり、音楽をもっと極めたいと思い、この道に進みました。

## 演奏者プラス

新日本フィルでは、ヴィオラ奏者として演奏することと、インスペクターとして、楽団員が練習に集中できる環境をつくるお手伝いをしています。新日本フィルの演奏会がないときは、ミニコンサートを開いています。親しい人とお食事しながら、クラシックを楽しむ。そんな時間をすこしでも多くの人にお届けし、心地よい響きを心ゆくまで堪能していただけたら、うれしいですね。「継続は力なり」をモットーにこれからも続けていきます。

## 音楽の可能性を広げる

音楽活動だけでなく、地域の活動にも参加しています。様々な分野の人との交流が私の音楽により意味で影響を与えています。音楽と絵画、音楽と落語などの様々なコラボレーションで、広がる世界は無限です。音楽は私にとって「自分の気持ちを表現できる」究極の楽しみです。全ての授業に音楽を取り入れ、学んでいく、夢はそんな幼稚園をつくることです。

演奏会で多くの人と出会います。  
交流の輪、そして音楽好きの輪も広げたいですね。

# 異文化に学ぶ



**金子 正徳**  
Kaneko, Masanori

奈良県生まれ。H06年三重大学人文学部文化学科卒業。金沢大学大学院文学研究科修了、同大学院社会環境科学研究科修了後、同研究科研究員を経て、現在に至る。

国立民族学博物館  
機関研究員



国立民族学博物館にて  
(大阪府吹田市)

## インドネシアとの出会い

テレビ番組などで観た世界各地の社会や文化に対する驚き…。そこからさまざまな人々の暮らしに興味を持つようになりました。「世界をもっと知りたい」という強い願望を持ち、三重大学に入学しました。大学での研究を進めるうちに香辛料に関する文化や歴史に出会ったことが、インドネシア研究の原点となりました。

## 好奇心が研究の源

スマトラ島南部のランブン人の生活は、異文化が融合しあいとても特徴的です。実際に現地の人々と一緒に生活すると、それまでの理論と違う発見があり、新たな疑問が浮かび、事実を追究したくなります。これを繰り返すことで、また新しい研究テーマが見つかり、胸が躍ります。映画が好きでよく観ます。仕事柄かも知れませんが、描写されている世界の日常や生活状況など興味は尽きません。

## 疑問はすぐそばに

「疑問はひらいたまま置いておく」ことは、日頃から意識して学生にも伝えていることです。研究を続けるとすぐには解決できない様々な疑問が浮かんできます。その時に解決できなくてもいつでも思い出せる状態にしておきます。そうすることで、何気ない日常の中や他の研究中に思いもよらぬ発見に出会ったり、解決の糸口へとつながっていくのです。

作家塩野七生さんの小説「ルネサンスの女たち」の中に「夢もなく、怖れもなく」という言葉があります。クールなだけでなく、行動してみる。そんな行動的な現実主義者を目指してみませんか？

# 特集 輝くOBII インタビュー

SPECIAL EDITION

これまで三重大学という学舎で育った卒業生は約60,000名、社会の様々な分野で活躍中です。

僕が、キラキラ卒業生にインタビューしてみました。おさけの中、取組む努力が溢れだす、面白いお話です。



# 正しい知識でリスク回避



国立感染症研究所  
感染症情報センター  
第一室長

谷口  
清州  
Taniguchi, Kiyosu

三重県生まれ。S59年三重大学医学部卒業。同大学小児科学教室入局。関連病院小児科勤務後、H04年ガーナ国野口記念医学研究所。WHO感染症対策部派遣などを経て、現在に至る。

## 人生の航路が変わった

感染症プロジェクトリーダーとして、ガーナ国野口記念医学研究所に赴任したのは1992年。途上国では、ちょっとしたことで予防できる病気で、何万人もの子どもが死んでいました。正しい予防知識さえ知っていれば、死なずに済む。ショックでしたが、そこでの経験と出会いがその後の人生を大きく変えました。

## 国民を守る組織

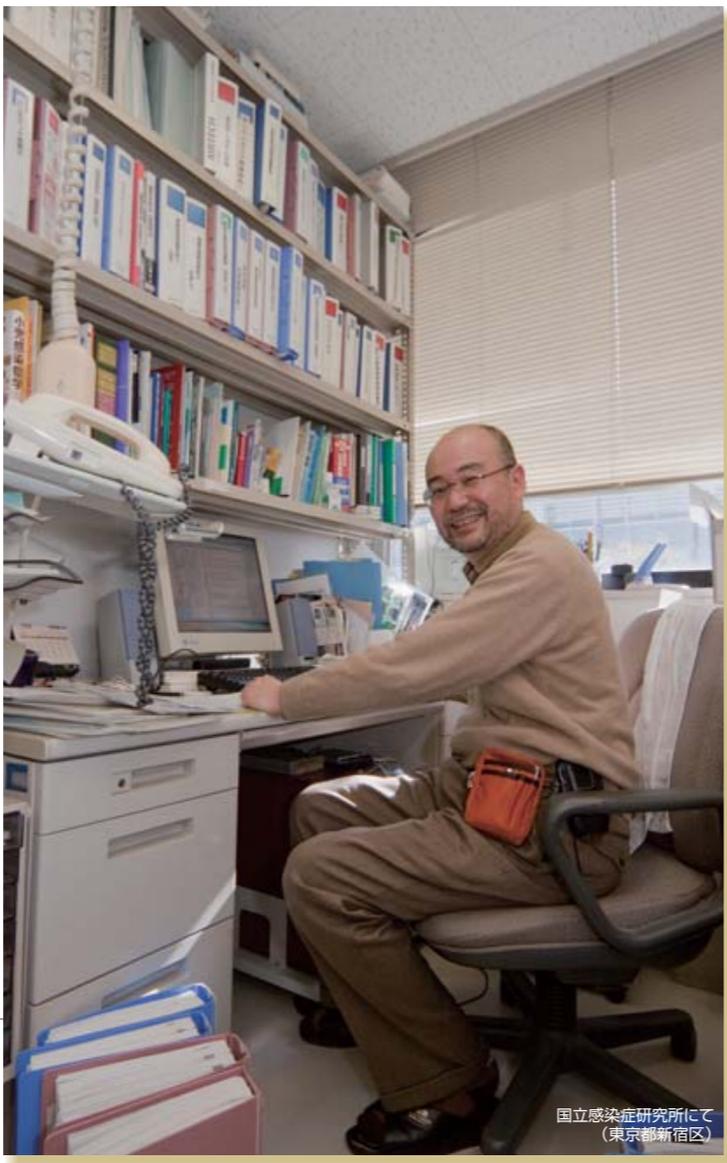
エイズ、O157、エボラ等の感染症の脅威が一気に世界を駆けめぐった十数年前、すでにアメリカでは、疾病予防管理センターで、8,000~10,000名が国民を守るために働いていました。しかし、日本には組織さえなかった。三重病院の神谷院長に「立ち上げるまで帰ってくるな」と言われ、東京にきました。

## パンデミックに立ち向かう

人類が進化しているようにウイルスも進化し、新種が生まれています。従って、人間にダメージを与えるパンデミック(感染爆発)の発生も、いつでも起こり得る状況にあるといえます。だからこそ、危機管理に対応できる組織の充実が、重要だといえます。

私の職務は国レベルの感染症対策ですが、研究で明らかになった感染症やウイルスの情報を正しく伝えることも重要です。正しい知識は、被害を最小限にできます。国民の皆さんに、危機管理の必要性を理解していただくと同時に、マスコミから流れる断片的な情報に左右されることなく、正しい知識を持っていただく、そのための努力と研究にこれからも励みます。

世界はとても広いです。  
海外から日本を見ると違ったものが見えてきます。  
是非体験してください。  
何事も見て、考えて、憶することなくやってみてください。



国立感染症研究所にて  
(東京都新宿区)

# 笑顔のためにできることを



紀南病院 院長  
(三重大学名誉教授)

野口  
孝  
Noguchi, Takashi

秋田県生まれ。S47年三重県立大学(現三重大学)医学部卒業。三重大学医学部第一外科入局。同外科助教授、ピッツバーグ大学移植外科留学、三重大学看護学科学科教授を経て、紀南病院院長。現在に至る。

## 夢に向かって

昔から描いていた夢、「医者不足で困っている患者さんのためになりたい」このことが現実となる日がやって来ました。以前からこの地域の患者さんを診療していた関係もあり、一医療人として紀南病院勤務を願っていました。「新たな挑戦」にエールを頂き、3年前、30年以上お世話になった三重大学から紀南地域へと「心の旅路」をスタートさせました。

## 医療について一緒に考える

「地域力」はこの地域の医療に欠かせません。その中で一番大切なのは対話であり、医療問題をみんなで考える意見交換会を、各集落に赴いて開催しました。住民、行政、医療従事者それぞれが本音で話し合っ、限られた医療資源を有効活用するために、問題点を分ち合い、一緒に我慢し励まし合っ、新しい仕組みづくりに努めてきました。平成21年4月には、県と協働で、紀南病院に「地域医療研修センター」を開設することになりました。全国の地域医療のモデルにしようと赴任以来取り組んできたことが実現化されます。

## 癒しの治療

「病気を診ずして病人を診よ」(故高木兼寛氏)という言葉があります。ここではこの言葉を念頭に、診て、触れて、対話して、日々の少しの変化にも気づく心配りを実践しています。一人ひとりの患者さんに「癒しの治療」を行い、患者さんの心から安心されたときに思わず口からこぼれる「良かったヨ～」の一言が聞きたくて、今後も医療支援を充実していきます。

紀南病院へ行くことは大きな挑戦でした。  
今後も出会い、触れ合い、分ち合い、築き合いを、  
心通う仲間達と続けていきます。



紀南病院にて  
(三重県御浜町)

# アイデアを権利に! 知的財産を守る



特許庁  
審判部第6部門  
上席部門長

酒井  
Sakai, Shin  
進

愛知県生まれ。S48年三重大学工学部機械工学科卒業。卒業後特許庁一筋35年。自動車用自動変速機、電気コネクタ、オートバイ、ロボット、プリンタなど数多くの技術を担当。

## 特許庁で裁判長!?

「東京特許許可局」という早口言葉がありますが、実際にそんな部署はありません(笑)。特許庁は、特許、意匠、商標の出願について審査を行い権利を与えるところです。現在は審査官が特許を認めない場合の妥当性や、特許権の有効無効を判断する審判部で仕事をしています。私は三人合議のトップ、法廷に例えれば、いわば裁判長ですね。双方の言い分を聞き、技術と法律の知識を駆使して、問題を解決する確かな判断力が必要とされます。

## アイデアと発明は別物です

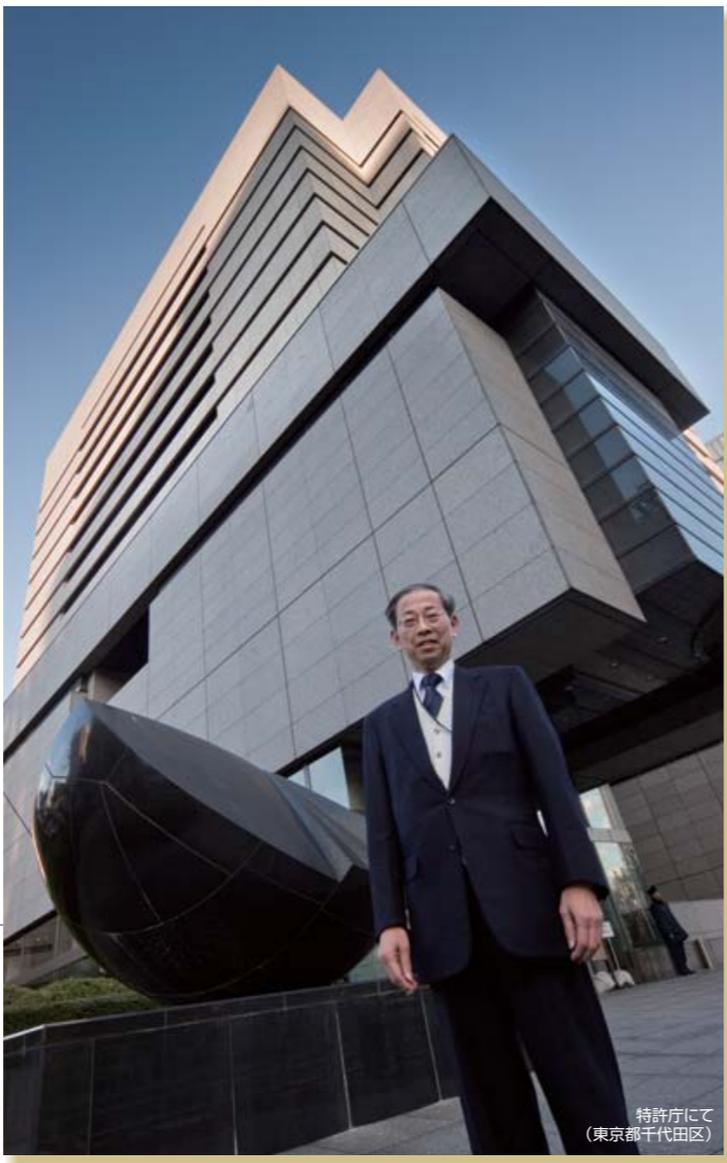
頭の中に浮かんだ漠然としたアイデアには、特許権は与えられません。特許権を得るためには、アイデアを形に、つまり文書化して審査を受けていただきます。他人に伝え、知識が共有できて、はじめて特許発明と認められるわけです。頭の中のアイデアは時間が経てば変わってしまう流動的なものですからね。「自分の考えを正確に伝える」、何も特許に限ったことではありません。とても重要なことです。

## 技術センスの伝承

新技術に「直に触れる」ことは、今でも技術者の血が騒ぎます。これが私の仕事の原動力でしょう。好奇心が尽きることはありません。最近は入庁当時と比較して世間の知的財産に対する関心が高まり、感慨深いところです。長年の経験を活かし、部門長としてあらゆるノウハウを後進に伝えることが大切な役目と感じています。

何事も一所懸命になることが大切です。社会ではみんなが一所懸命に仕事をしているので、相手の意見も尊重しながら、お互いの調和も重要です。

経済産業省特許庁  
http://www.jpo.go.jp/indexj.htm  
〒100-8915 東京都千代田区霞が関3-4-3 TEL.03-3581-1101(代)



特許庁にて  
(東京都千代田区)

# 自然から「シゼン」な感動伝えたい



NHK富山放送局  
放送部 番組制作 専任ディレクター

増田  
Masuda, Jun  
順

香川県生まれ。HO1年三重大学農学部(現生物資源学部)農業土木学科卒業。卒業後東京大学大学院修士課程修了。NHKに就職。岡山放送局に赴任。科学番組部で「ダーウィンが来た!」など数多くのドキュメンタリー番組を制作。現在に至る。

## 大自然の中へ

響く声の主を捜しに森の中を走り回る。40mもある木の上の鳥の巣にカメラを仕掛けに、木登りをする。一瞬の撮影チャンスのために長時間待機し、野宿することも(基本はテント暮らし)…。『生きもの地球紀行』『ダーウィンが来た!』などの番組制作では、大自然に生きる動物を追いかけ、日本国内、そして世界中の秘境に踏み込みます。

## 知られざる世界をありのままに

番組制作はテーマに沿って綿密な準備をしてから取材します。しかし自然界は私たちの予想を遙かに超える一面を見せて、「この驚きや感動を伝えたい」と強く感じます。映像を通じて伝えられることは、ほんの一部に過ぎませんが、限られた時間の中で「ありのままの自然を皆さんに届けたい」一心で番組制作に力が入ります。テレビを通して動物親子の微笑ましい姿を見ながら、やさしい気持ちで郷里を思い出してもらえたら…、そんな映像をつくりたいですね。

## 十人十色、社会は個性の集合体

映像制作の現場では、特異な体験や何かに没頭してきた人が意外な才能や特技を発揮して、生き生き仕事をしていますね。学生時代にありふれた学生生活を送るのはもったいないです。研究に打ち込むもよし、独自の趣味や興味を目一杯追求するもよし、充実した時間を過ごすことが、社会に出てきつと生きてくると思います。

「断家に弟子入り」するつもりで、大学研究室の扉を叩いてみましょう。新しい理屈を生み出す前の「~だろう」「~かもしれない」を議論する時期が一番面白いですね。



NHK富山放送局にて  
(富山県富山市)

# 分野横断型の研究拠点の創出

三重大学

# リサーチセンター

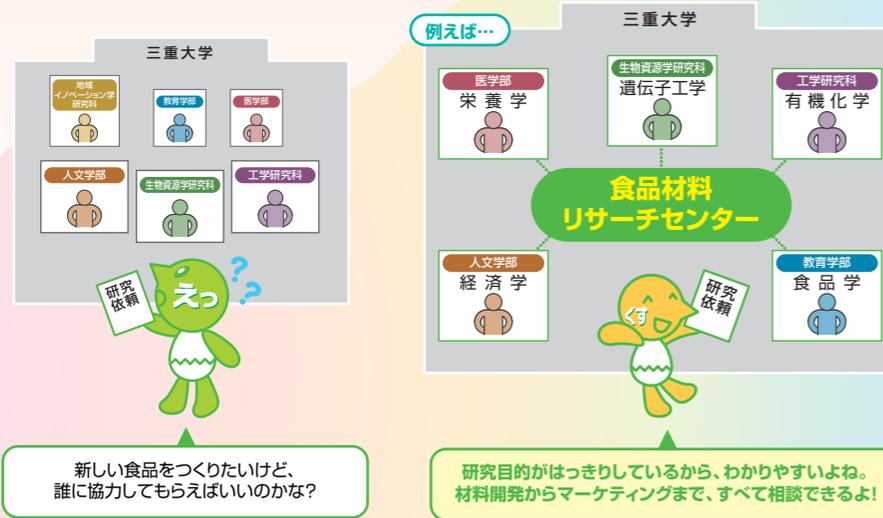
近年、科学技術の発展はめざましいものがあり、新しい技術を創生するためには、異分野の先端技術を複合的に組み合わせながら、新たな理論的、実践的な技術体系を構築することが不可欠となっています。

三重大学では、研究の最終ターゲットを共有する様々な分野の研究者が横断的に研究グループを作り、新たな視点を持った研究や新技術の創生を目指す事を目的とした"三重大学リサーチセンター"を設置しました。このリサーチセンターが、研究をさらに活性化させ、先端研究の拠点となり、地域イノベーションの推進に繋がるとを期待しています。

**mission**

- 独創的な研究の創出
- 先端研究の拠点化
- 新産業創出の技術支援
- 地域イノベーションの推進

● 異分野の研究者が共通ターゲットをねらう理由



異なった分野の研究者がそれぞれアプローチを行うことで、具体的な研究のニーズに答えることが出来ます。



ワイヤーハーネス

三重大学  
コネクタ工学  
研究センター

(センター長:工学研究科・教授 飯田和生)  
【コネクタ研究の世界的拠点を目指して】  
自動車の電子化、ハイブリッド化が急速に進む中、より高い信頼性が求められるワイヤーハーネスのコネクタ部分の様々な問題点を研究し、より信頼性の高いコネクタの研究開発を行います。

三重大学  
次世代型電池  
開発センター

(センター長:工学研究科・教授 武田保雄)  
【次世代を見据えた新しい電池開発】  
電気自動車に用いる「大きなエネルギー密度」と「高い安全性」を持った電池や、「小型軽量」で「薄くて曲がる」電池など、多様化する次世代電池の研究開発・実用化を、国や県、他大学や研究機関、民間企業などと連携し、様々な面から研究開発を行います。



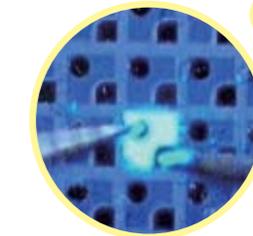
リチウム電池



ヒトゲノム

三重大学  
疾患ゲノム研究  
センター

(センター長:生命科学支援センター・教授 山田芳司)  
【ゲノム医学に関する世界のトップレベルの研究】  
個人個人における遺伝的相違を検出することが可能となった今、これらの遺伝情報からそれぞれの生活習慣病の発症に関連する遺伝子を特定し、個人に最適な予防法や治療法を選択するオーダーメイド医療について研究します。



青色発光ダイオード

三重大学  
極限ナノ  
エレクトロニクスセンター

(センター長:工学研究科・教授 平松和政)  
【常識をくつがえす新規のナノエレクトロニクスデバイスの開発】  
ナノ物質の創製と加工、ナノシミュレーションと物質設計など独自の研究を展開しながら、グループ横断的な研究プロジェクトを通じて、従来の常識をくつがえす新規ナノエレクトロニクスデバイス創製を行うとともに、ナノエレクトロニクス分野の優秀な人材の育成並びに新産業の創出を目指します。

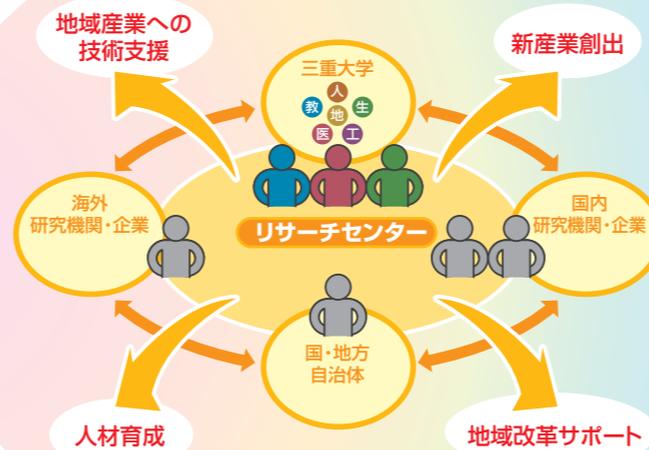


CIO (最高情報責任者) 育成講座

三重大学  
地域情報化  
リサーチセンター

(センター長:教育学部・教授 松岡守)  
【地域住民が真に望む地域情報化の研究推進】  
三重大学の文理両面の研究開発能力を活かし、地方公共団体、NPO、企業と協力しつつ、地域住民が真に望む地域情報化の研究開発を推進します。

● 国、地域、企業と大学が コラボレーションする先端研究の拠点



組織や研究分野の枠にとらわれない研究グループが、これまでにない研究成果や新技術を生み出し、新産業創出など地域に貢献します。

平成21年3月現在、設置されているリサーチセンターです。新しく設置されるリサーチセンターは、随時ホームページで公開します。

● リサーチセンターURL ● <http://www.mie-u.ac.jp/research/>



# 三重大学大学院 地域イノベーション学 研究科

## 輝く三重で世界に向けて活躍する

### あなたは企業の1/10,000人? 1/50人?

社会を動かし、地域を動かしながら自由自在に羽ばたいてみたいと思いませんか?

働き方はあなた自身が選ぶ時代です。

三重大学は、世界を相手に常に輝きワクワクしながら働く

クールな人財=研究開発のできるビジネス・エリートを育てます。



## mission

- 企業ミッションを持ち入学した幹部候補生とともに新製品の基礎を築く
- 社会・地域・企業を動かす人材となりえるプロジェクトマネジメント能力を育成
- 三重県の人材育成部門・研究開発部門のコアララボ設置
- 世界で活躍する博士号を持つビジネスマンの養成
- U・I・Jターンを望む人が三重県で中核人材となるためのスキルと活躍の場を提供

### 学位と定員

### 地域イノベーション学研究科

#### 学位名

#### 各学年

- 博士前期課程 修士(学術).....10名
- 博士後期課程 博士(学術).....5名

### 問い合わせ先

三重大学大学院地域イノベーション学研究科

(生物資源学研究所事務室内)

TEL.059-231-9632 FAX.059-231-9635

E-mail innovation@mie-u.ac.jp

http://www.mie-u.ac.jp/innovation/



こんな人たちが  
入学します



## 日本初!! 企業との共同研究を通して実践的に 研究開発とPM<sup>※1</sup>(プロジェクトマネジメント)が同時に学べる大学院!

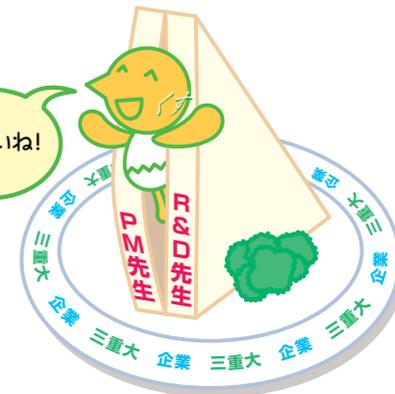
様々な分野の教員や  
学生で構成された  
文理融合型の独立大学院

社会人に優しいシステム

- 昼夜開講・集中講義
- eラーニング
- 企業内研究の単位認定

教育の特徴は  
OPT教育<sup>※2</sup>と  
サンドイッチ方式教育<sup>※3</sup>

おいしいね!



### 4年制学部卒業生

- 地域社会で活躍したい!
- スキルアップしたい!
- 世界に羽ばたきたい!

### 社会人

#### 社会

- 地方の社会問題を解決したい!

#### 地域

- 農業の活性化をしたい!
- 環境問題の解決をしたい!

#### 企業

- 新製品の開発チームを作りたい!
- 人材を育成したい!

### 留学生

- ハイレベルな知識と技術を身につけたい!
- 日系企業で働きたい!

地域産業

三重大学

## 地域イノベーション学研究科

先端融合工学ユニット...北部地域企業の抱える問題の解決  
総合バイオサイエンスユニット...中南部地域の農林水産業への貢献

コアラボ (研究者のたまり場)  
中小企業の開発研究拠点...OPT教育実践の場

入学

博士前期課程(2年)  
研究開発PMができる研究開発者育成

基礎能力 専門能力  
研究開発能力  
PM能力

博士後期課程(3年)  
事業化PMができる研究開発者・経営者育成

幅広い分野の専門知識  
高度な基礎研究能力  
研究開発のPM能力

修士課程  
修了

国内外の企業へ就職  
出身企業へ復帰

進学

連携

博士課程修了

研究開発能力 国際感覚

博士

プロジェクトマネジメント能力

### 3つのスキルが活躍へのパスポート

ビジネスと研究開発を理解できる人材として  
出身企業をはじめ国内外の企業で、世界で、  
活躍が期待できます。

地域を元気に!  
世界に向かって  
飛びだそう!



将来は三重県の  
期待の星☆に  
なってね!

※1 PM(Project Management) : 新事業・新製品の企画から製品化、市場投入までの管理

※2 OPT教育(On the Project Training) : 企業との共同研究(解決したい問題点)をテーマとした実践教育

※3 サンドイッチ方式教育 : R&D(Research & Development)教員(基礎研究担当)とPM教員(研究開発プロジェクトマネジメント担当)が協力して指導



えっくすくん  
information  
気になる NEWS

平成20年  
11月24日  
「第32回  
全日本学生弓道女子  
王座決定戦」準優勝!!

伊勢神宮への奉納大会の意味も込められた本大会で、東海地区代表として5度目の出場を果たし、準優勝に輝きました!



平成20年  
12月2日  
学長特別  
表彰式・講演会

長年にわたるタイ北部山岳地域での植樹ボランティア活動の功績を讃え、梅林正直名誉教授に学長特別表彰が授与され、梅林氏による講演が行われました。



梅林正直 名誉教授

平成20年  
12月16日  
附属小学校3年A組  
大門商店街の  
PRチラシ



大門商店街を自分たちで取材し、お店のお勧めや売れ筋などのPRチラシを作成。商店街周辺で配布しました。

平成21年  
1月~  
三重大生協  
マイ箸持参  
10円引きサービス

レストラン「パセオ」でエコ活動推進のための新しいサービスが始まりました。



平成21年  
1月16日~  
平成20年度  
三重大学企業研究会

就職活動を始めた学生たちに業界や企業の説明があり、1300名を超える参加学生は、先輩の話に熱心に聞き、メモをとったり質問を投げかけたりする姿が見られました。



平成21年  
1月18日  
地域と連携  
防災マップ作成

地域住民と三重大の学生・職員らが災害を想定して、三重大教育学部附属学校周辺を巡回し、避難経路や避難場所を示した防災マップを作成しました。



平成20年  
11月29日~  
平成20年  
11月30日  
3,000名  
が参加  
「青少年の  
ための科学の祭典」  
第6回三重大学大会

科学実験や工作などの33ブースが出演。中部電力と三重大とでの共催による「サイエンスonステージ」も開催され、参加者は科学のおもしろさ・不思議さを楽しんでいました。



平成20年  
12月20日  
女性研究者支援イベント  
アジア・コラボ  
国際フォーラム  
次世代の女性研究者を  
育成するために

本学のアジア地域協定校5校から女性研究者を招いて、ポスターセッションやパネルディスカッションが行われました。また、男性の若手研究者や学生もたくさん参加し、大変有意義なフォーラムとなりました。

- 「アジア・コラボ国際フォーラムポスター賞」  
最優秀ポスター賞  
陣田さやかさん(医学研究科)  
優秀ポスター賞  
荒木裕子さん(生物資源学研究科)  
Wikanya Prathumyotさん(生物資源学研究科)  
織田 透さん(工学研究科)



「みえ青少年デジタル  
フォトコンテスト」  
最優秀賞



大竹亮宣さん(教育学部1年生)

第37回 三重県スポーツ  
20年度 (財)三重県体育協会表彰  
「第37回三重県スポーツ  
優秀賞」  
「三重県体育協会優秀選手賞」  
受賞



水口侑子さん(教育学部4年生)

全自動  
「リポソーム」  
製造装置開発

医療分野等で広く使われている人工脂質の膜でできたカプセル「リポソーム」の全自動製造装置を吉村哲郎・三重大名誉教授らが世界で初めて開発しました。



吉村哲郎 名誉教授 橋本電子工業株式会社 橋本正敏 社長

平成21年  
4月  
スタート  
独立大学院  
「地域イノベーション  
学研究所」新設

本研究所は、今までに類を見ない地域産業界が求める即戦力型人材である「プロジェクト・マネジメント」ができる研究開発系人材」の育成を目指します。



平成21年  
1月30日  
「勢水丸」  
引渡し式

大学院生物資源学研究科の新しい練習船「勢水丸」が山口県下関市の三菱重工下関造船所から母港の松阪大川港に到着し、引渡し式が行われました。



基調講演 NPO法人代表：西村和雄氏

平成21年  
1月23日  
「シロモチくんの館」訪問  
附属小学校4年C組

「藤堂高虎って、どんな人?」という疑問から、「シロモチくんの館」を見学。ときめき高虎会のメンバーから、紙芝居や資料を通じて高虎の魅力を学びました。



「シロモチくん」との対面に、感激!!

平成21年  
1月23日  
伊賀市のウェルサンピア  
「産学官連携セミナー  
2008 in 伊賀」

三重大伊賀研究拠点開設に向けて、産学官連携の発展と設立の理解を深めるためのセミナーが開催され、地元企業などの関係者約140名が出席しました。



INFORMATION\*SPOT\*

津市  
たにがわ ことすが  
谷川士清  
旧宅



▲谷川士清旧宅



▲谷川神社にある反古塚

生誕300年。はじめて五十音順国語辞典を作った人、谷川士清(1709~76)。津市内の旧宅へ行ってきました。

◎津の偉人谷川士清

谷川士清は家業の医者を経る傍ら、多くの研究を行いました。『日本書紀』の注釈書『日本書紀通証』(全35巻)や、我が国はじめての五十音順国語辞典『和訓栞』など文献を残しています。『和訓栞』(全93巻)は、士清の遺志を受け継いだ子孫が100年余りの年月をかけて完成しました。

士清を祀った谷川神社にある反古塚には、「一生を自分は国学の研究に力を入れていたことを誇りに思っている」という彼の想いが記されています。



▲旧宅内の様子



▲旧宅内の部屋



▲年表です。本居宣長と交流がありました。



▲散策マップがありました。



士清さんのこと  
もっと知りたい  
なら、まわって  
みてね!



加藤レポーターが  
今回で卒業されます。  
長い間お世話になり、  
ありがとうございました。



加藤レポーター

▼和語通音表



▲入り口の目印

谷川士清旧宅

- 所在地  
〒514-0041  
三重県津市八町三丁目9-18
- お問い合わせ先  
059-225-4346
- 開館時間  
9:00~16:00(入場無料)
- 休館日  
月曜日(月曜日が祝日の場合は翌日)  
年末年始



弓道部

代表 藤田 岳  
(教育学部学校教育教員養成課程 2年)  
[HP] [http://www.geocities.jp/yumibu\\_mie\\_univ/index.html](http://www.geocities.jp/yumibu_mie_univ/index.html)

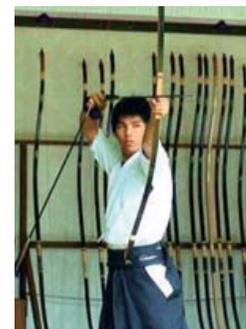


活動は!毎週  
月・火・金16:40~19:00/土9:40~12:00  
弓道場(第一体育館裏)

私たち弓道部の男子は全日本学生弓道王座決定戦で勝つこと、女子は一部リーグ優勝を目標に日々練習に励み、「勝ち」に対する意識がとても強いクラブです。

練習は男女混合で、学生同士指導を中心に、お互いを高めあっています。部員は普段の練習以外にも自主的に弓を引き、夜になっても道場の明かりが灯ってます。

合宿やコンパ等行事も多く、充実した学生生活を送っています。



私たちダンス部は、とにかく毎日  
元気で楽しく踊ってます♪  
全面力ガミ張りのダンス場で、みんなイキイキと  
汗を流してます!



自主公演、三重大祭への出演、他大学の学祭への出演、地域のイベント等で踊りを発表しています。

昨年8月に開催された日本最大の創作ダンスのコンクール「全日本高校・大学ダンスフェスティバル(神戸)」では、クロスカルチャーへの新しい挑戦が評価され、神戸市長賞を受賞しました。

また、みんなでキャンプに行ったりスノーボードに行ったり、遊びも充実したクラブです!



活動は!毎週  
火・水16:45~20:00/土10:00~13:00  
第一体育館2階(ダンス場)

代表 大仲 裕大  
(人文学部法律経済学科 2年)  
[HP] <http://mie-dance-club.hp.infoseek.co.jp/>

ダンス部

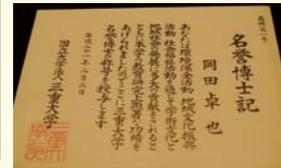
# \* 三重大学名誉博士

## 三重大学名誉博士 第1号

イオン株式会社名誉会長相談役  
岡田卓也氏



●平成21年2月2日  
三重大学 講堂  
名誉博士称号授与式・記念講演



岡田卓也氏は、地域の地場小売業を世界有数の大企業として育て上げると同時に、環境保全活動および地域文化振興活動等の社会貢献活動にも注力して、企業の社会的責任(CSR)の模範を示し、三重大学の教育研究の発展にも寄与されました。この功績を讃え、名誉博士の称号を授与しました。



学長の式辞



記念講演「企業の社会的責任」



ホールは、一般の人や学生でいっぱい



学生との懇談会

様々な功績が大画面に写されました



学校建設支援



「万里の長城植樹」活動



「イオン1%クラブ(現名称)」設立

# \* 平成20年外務大臣表彰

名誉教授・元生物資源学部  
梅林 正直 (うめばやし まさなお)



タイ北部山岳地域で植樹ボランティア活動に従事され、タイにおける国際協力を推進した功績が認められました。

# \* チェンマイ大学名誉学位授与

名誉教授・元生物資源学部  
伊藤 信孝 (いとう のぶたか)



2007年10月からタイのチェンマイ大学工学部で客員教授として新たな教育・研究活動を行いグローバルな貢献が認められました。

# \* 学生表彰

(財)日本刑事政策研究会  
平成20年度 懸賞論文  
佳作



人文学部3年生 小柴麻友子さん  
人文学部3年生 江口沙也加さん  
(准教授 田中亜紀子)

2008PCカンファレンス  
最優秀学生論文賞



大学院工学研究科(前)1年 今井拓真さん  
大学院工学研究科(前)1年 高野敏明さん  
(准教授 高瀬治彦)

日本産業技術教育学会  
第三回発明・工夫作品コンテスト



教材開発部門 学会賞

教育学研究科2年 奥村幸司さん  
(教授 松岡 守)

発明工夫部門 特別賞



教育学部4年 河合範迪さん  
教育学部4年 牡鹿晃久さん  
教育学部4年 山内崇雄さん  
(准教授 中西康雅)

# \* 表彰

●平成20年12月10日  
International Conference on Nanomaterials  
and Applications (ICNAMA-2008)  
優秀賞



大学院工学研究科・准教授 金子 聡

●平成20年3月16日  
日本生態学会論文賞



大学院生物資源学研究科・准教授 河村功一  
他2名



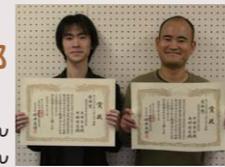
おめでとう  
ございます

平成20年度 電気関係  
学会東海支部連合大会  
電気学会優秀論文発表賞



大学院工学研究科(前)2年 南山幸紀さん  
(准教授 北 英彦)

第6回 キャンパス  
ベンチャーグランプリ中部  
奨励賞



大学院医学系研究科(博)2年 大村佳之さん  
大学院医学系研究科(修)2年 宇都昌志さん  
(教授 西村訓弘)

日本分析化学会中部支部  
第8回 高山フォーラム  
ポスター優秀賞



工学部4年 小池峻也さん  
工学部4年 佐々木美希さん  
(教授 太田清久)

( )内は指導教員

# \* 本の紹介

著書名	著者・発行・金額(税別)
中絶と避妊の政治学	著者/ティアナ・ノーグレン 監訳/岩本美砂子(人文学部・教授) 青木書店 3,800円
滋賀近代文学事典	編集/日本近代文学会関西支部 共著/尾西康充(人文学部・教授)他 和泉書院 8,400円
日本経済地理読本(第8版)	共著/鹿嶋 洋(人文学部・教授)他 東洋経済新報社 2,300円
遠隔画像診断ネットワークの構築と運用	監修/竹田 寛(大学院医学系研究科・教授) 共著/高田孝広(医学部附属病院・講師)他 日本放射線技術師会出版会 4,600円
桓武と激動の長岡京時代	編集/国立歴史民俗博物館 共著/山中 章(人文学部・教授)他 山川出版社 2,800円
新版 鯨とイルカのフィールドガイド	共著/吉岡 基(大学院生物資源学研究科・教授)他 東京大学出版会 2,500円



三重大学の  
教員が執筆  
している本の  
一部です

## \* 附属病院から



●安全確実な  
プライマリケア手技の習得と  
skillful surgeon/physicianの  
養成を目指して

～三重大学医学部附属病院スキルズラボ～

卒後臨床研修部・副部长 櫻井洋至

4月10日、附属病院10階南にスキルズラボ開設!!

医学部学生、研修医をはじめ診療に直接携わるすべての医療従事者が、シミュレーター機器を利用して、実践的な医療技術を理解・習熟することを目的とした技術研修センターです。

### スキルズラボで行われる技術研修

#### 1. プライマリケアから高度技能まで

採血、血管確保、気道確保や縫合など基本的手技から内視鏡手術など高度で専門性の高い医療技術まで訓練

#### 2. 特殊な病態を想定したケースシナリオによるシミュレーション

多発外傷や重症心不全や不整脈などの診断から治療に至る迅速な意思決定、治療の実践を生理的・病的な生体反応を再現可能な等身大の人形とそれを制御するコンピューターを用いて訓練

#### 3. 見よう見まねの技術の伝承から安全な仮想環境での十分な訓練

患者様の体を借りて、伝承された一昔前の臨床教育を改め、事故・合併症による患者リスクや医療コストに配慮し、軍事や航空・船舶技術訓練に用いられてきた仮想環境での教育手法を医学教育に導入

#### 4. 卒前教育から専攻修練まで対応可能な各種教育プログラム

医学科5、6年生向け20プログラムと看護科向け4プログラムを実施。さらに時間外に学生、研修医、医師、歯科医師、薬剤師などを対象にした実践的コースも設定。

ホームページでスキルズラボのコースをご覧ください。



## \* 2009オープンキャンパス

●オープンキャンパスの日程が決まりました!!

- 7月28日(火) 工学部
- 8月 3日(月) 人文学部
- 8月 4日(火) 生物資源学部
- 8月 5日(水) 医学部
- 8月 7日(金) 教育学部

◎内 容 ◎各学部学科紹介、入試説明、体験授業、研究室見学など  
◎問い合わせ先 ☎14-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
三重大学学務部入試チーム / ☎059-231-9063

オープンキャンパスに関する詳細は、本学ホームページ「入試情報」にて決まり次第お知らせします。 / URL <http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

## \* 教員免許状更新講習

●平成21年からの教員免許更新制導入にともない、三重大学では教員免許状更新講習を開設します。

◎期 間 ◎5月後半～12月  
◎科 目 ◎必修科目8講習、選択科目112講習  
◎場 所 ◎5地区(北勢、中勢(三重大学)、伊賀、志摩、東紀州)  
◎受講申込方法 ◎ホームページからの申し込みにより先着順で受付ます。申込受付期間等は平成21年3月中旬以降にホームページでお知らせします。  
◎問い合わせ先 ◎三重大学学務部教務チーム教員免許状更新講習担当  
☎059-231-5520 / Eメール [kyomu-m@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kyomu-m@ab.mie-u.ac.jp)  
※開設日、会場、講座名、受講対象者、定員及び時間等詳細については、ホームページでご確認ください。  
URL <http://www.edu.mie-u.ac.jp/menkyo/>

## \* FM三重で放送中!!

- 「fの時間」放送中!  
〈毎週火曜日17:55～18:00〉  
21世紀の職域保健を共に考える番組です。ぜひお聴きください!
- 「Campus CUBE」大好評放送中!  
〈毎週金曜日 20:30～20:55〉  
三重大学、皇學館大学、鈴鹿国際大学、高田短期大学の学生が、自分たちの声で情報をリスナーにお届けしています!
- 「ドックMMC～50センチの信頼～」放送中!  
〈毎週水曜日 17:55～18:00〉  
三重県内の研修医が、研修医生活や三重の医療に対する夢を語ります。

## \* 附属中学 総合学習の取り組み

●1年間の総まとめである3学期の学習に生徒達は全力をあげて取り組んでいます。

- 1年生  
教育学部中西良文准教授、学生による「記憶の学習心理学」  
短期記憶と長期記憶の違い、記憶における情報の体制化を学びました。
- 2年生  
附属中学校長 山根栄次教授による「起業家活動(会社をつくらう)」  
生徒による商品の開発・製作から販売まで具体的に考え合い活動しました。
- 3年生  
3年間中学校で学んだことの総仕上げ  
「卒業研究」を各自が興味関心を持つ課題についてレポートを作成しました。



商品を販売する生徒たち

## \* 平成20年度 学位記授与式

◎日 時 ◎平成21年3月25日(水)  
◎会 場 ◎三重大学講堂

- 大学院学位記授与式 9時45分～
- 学部学位記授与式 11時00分～



## \* 平成21年度 入学式

◎日 時 ◎平成21年4月8日(水)  
◎会 場 ◎三重大学講堂

- 大学院入学式 9時45分～
- 学部入学式 11時00分～



## \* 公開講座・シンポジウムなど

●平成21年度 前期三重大学市民開放授業受講生募集のお知らせ  
三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様に学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を平成21年度から新たに開設します。受講を希望される方は、平成21年3月上旬に募集要項をホームページに掲載しますので、ご応募くださるようご案内いたします。  
◎受 講 資 格 ◎授業内容が理解できる方(受講希望者ご自身の判断に委ねます。)  
◎受講申込受付期間 ◎平成21年3月16日(月)～平成21年3月23日(月)(土・祝日を除く9:00～17:00)  
◎問い合わせ先 ◎三重大学学務部教務チーム / ☎059-231-9054

●平成21年度 生物資源学部特別支援プログラム  
生物資源学部では、社会人の学び直しニーズ、スキルアップ、専門能力向上を目的として「生物資源学部特別支援プログラム」を立ち上げました。  
◎問い合わせ先 ◎三重大学生物資源学部・生物資源学研究所チーム  
☎059-231-9631 / URL [http://www.mie-u.ac.jp/event/post\\_64.html](http://www.mie-u.ac.jp/event/post_64.html)

●三重大学・鈴鹿医療科学大学合同公開講演会  
●「どう選ぶ?新時代の生活習慣病治療」  
◎講師 ◎住田 安弘 三重大学医学部附属病院・病院教授  
櫻井 弘 鈴鹿医療科学大学薬学部・教授  
佐々木和郎 鈴鹿医療科学大学鍼灸学部・教授  
廖 世新 鈴鹿医療科学大学鍼灸学部・准教授  
◎日時 ◎平成21年3月3日(火) 14:00～17:20  
◎会場 ◎ホテルグリーンパーク津 ◎参加費 ◎無料  
◎問い合わせ先 ◎三重大学医学部産学連携医学研究推進機構  
☎059-231-5405 / Eメール [med-link@doc.medic.mie-u.ac.jp](mailto:med-link@doc.medic.mie-u.ac.jp)

●産学官連携フォーラム2009  
都市エリア産学官連携促進事業「発展型」三重・伊勢湾岸エリア  
新世代全体ポリマーリチウム二次電池の開発と高度部材イノベーションへの展開  
◎日時 ◎平成21年3月9日(月) 13:30～19:00 ◎会場 ◎ホテルグリーンパーク津  
◎問い合わせ先 ◎ (財)三重県産業支援センター・高度部材イノベーションセンター  
☎059-349-2205 / Eメール [amic@miesc.or.jp](mailto:amic@miesc.or.jp)

●?「発見塾」三重大学シリーズ 2008  
●第6回「95万分の1の発見：図書館における本の探し方」  
◎講師 ◎小山 憲司(こやまけんじ) 三重大学人文学部・准教授  
◎日時 ◎平成21年3月14日(土) 13:30～15:00 ◎会場 ◎津市図書館視聴覚室  
◎問い合わせ先 ◎津文化協会事務局 / ☎059-228-8393

●?「発見塾」三重大学シリーズ 2009  
●第1回「藤堂高虎の「実像」に迫る」  
◎講師 ◎山口 泰弘(やまぐち やすひろ) 三重大学教育学部・教授  
◎日時 ◎平成21年5月23日(土) 13:30～15:00 ◎会場 ◎津市図書館視聴覚室  
◎問い合わせ先 ◎津文化協会事務局 / ☎059-228-8393

●伊賀文化フォーラム  
●第1回「地域防災の現状と課題を考える～在住外国人の暮らしと防災」  
◎講師 ◎川口 淳(かわぐち じゅん) 三重大学大学院工学研究科・准教授  
◎日時 ◎平成21年6月7日(日) ◎会場 ◎伊賀市ゆめほりセンター

●第2回「水産資源と私達の暮らし」  
◎講師 ◎常 清秀(じょう せいしゅう) 三重大学大学院生物資源学研究所・准教授  
◎日時 ◎平成21年6月23日(火) ◎会場 ◎伊賀市中央公民館

●第16回iCERP研究会  
—教育実践研究の成果発表会とセンター改組10周年記念シンポジウム—  
(1)教育実践研究の成果発表会  
(2)記念シンポジウム「教育学部の地域連携をどう展開するか」  
◎日時 ◎平成21年3月26日(木) 9:30～17:00  
◎会場 ◎三重大学総合研究棟II メディアホール ◎参加費 ◎無料  
◎問い合わせ先 ◎三重大学教育学部附属教育実践総合センター、iCERP研究会  
☎059-231-9339 / FAX 059-231-9343 / Eメール [icerp@salon.edu.mie-u.ac.jp](mailto:icerp@salon.edu.mie-u.ac.jp)  
◎詳しくは ◎ <http://cerp.edu.mie-u.ac.jp/>

# 熊野と大逆事件



▲前列左：大石誠之助、後列左：崎久保誓一

一九一〇年(明治四三)、近代日本社会は大きな曲がり角を迎えました。〈外〉に向かつては日韓併合を強行して植民地を拡大し、〈内〉に向かつては大逆事件を通じて思想の取り締まりを強化しました。このとき天皇暗殺のための爆弾を製造していた容疑で幸徳秋水をはじめ二六名が検挙されました。新宮の大石誠之助を中心とするグループは「紀州組」といわれ、大石の他に峯尾節堂、高木顕明、成石勘三郎、成石平四郎、崎久保誓一の六名が含まれていたのです。

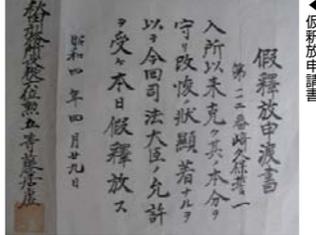
崎久保は南牟婁郡下市木に一八八五年(明治一八)一〇月二日、農家の長男として誕生しました。木本にある紀南新報の記者時代、新宮川で鮎が大量死する事件が発生したとき、鮎山が垂れ流す鮎毒が原因であることを突き止めました。この頃に大石の知遇を得、社会主義関係の新聞雑誌を送ってもらい、思想に目覚めたのです。

崎久保は大逆事件当時二七歳、無期懲役の判決を受け、秋田監獄に服役しました。一九年後の一九二九年(昭和四)四月一九日に特赦の恩典で仮出獄して帰郷、一九五五年(昭和三〇)一〇月三〇日に病没しました。享年七一。崎久保家には現在も誓一の手記が遺されており、幸徳たちの死刑執行の日の様子を教誨師から聞き書きした手帳や、獄中で英語の独学をしたノートなどがあります。

三重大学人文学部教授  
尾西 康充



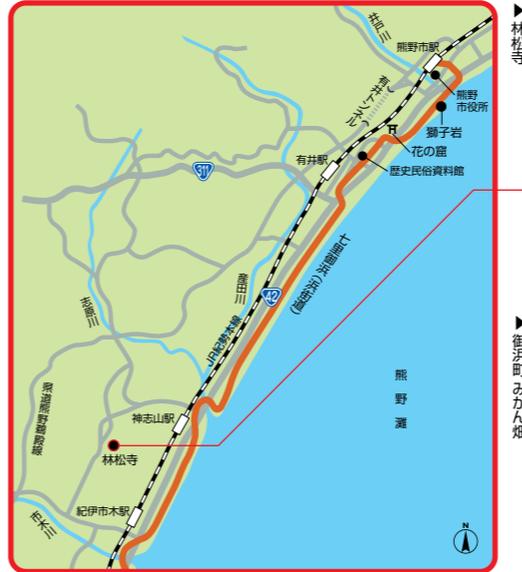
▲御浜町市木にある崎久保誓一の旧宅



▲仮釈放申請書



▼林松寺にある墓



## 本誌お問い合わせ先

三重大学総務部広報チーム  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
TEL 059-231-9789  
FAX 059-231-9623  
ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>  
E-mail [koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)  
\*ご意見をお寄せください。

三重大 X [えっくす] vol.17  
平成21年3月1日発行  
●発行／三重大学広報委員会  
●編集／三重大学広報室  
●印刷／有限会社アートピア [artopia@zvtv.ne.jp](mailto:artopia@zvtv.ne.jp)  
◎禁無断転載  
本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

## \* お願い・ご報告

### 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●  
三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください(FAX・E-mailでもOKです)。

ご郵送先  
お問い合わせ先

**三重大学振興基金事務局**  
【総務部総務チーム内】  
〒514-8507 津市栗真町屋町1577  
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000  
E-mail: [kikin@ab.mie-u.ac.jp](mailto:kikin@ab.mie-u.ac.jp)  
URL: <http://www.mie-u.ac.jp/fund/>

### メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしています。

配信申込み方法

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは『メールマガジン希望』と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。  
①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県

**[koho@ab.mie-u.ac.jp](mailto:koho@ab.mie-u.ac.jp)**

できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

### アンケートに答えて…

●三重大学オリジナル“えっくすくんわいわいボールペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわいわいボールペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)

\*なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。



→「えっくすくんわいわいボールペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。

## \* 公開講座・シンポジウムなど

- 心肺蘇生法講習会  
基本的な心肺蘇生術、自動体外式除細動器(AED)の使用法、窒息の応急手当等心肺停止に対する初期対応法を学ぶためのコースです。  
◎会場◎三重大学医学部看護学科棟  
◎申込・詳細◎<http://aha-mie.health-life.net/aed-syousai/aed-syousai.htm>
- ハートセイバー(HeartSaver:HS) AEDコース  
基本的な心肺蘇生術、自動体外式除細動器(AED)の使用法、窒息の応急手当等  
◎受講対象者◎一般市民  
◎開催日◎平成21年4月25日、5月16日、6月20日
- BLS for HCPコース  
成人・小児・乳児の心肺停止および窒息に対する初期対応法を学ぶための1日コースです。  
◎受講対象者◎医療従事者  
◎開催日◎平成21年4月26日、5月17日、6月21日
- ACLS(Advanced Cardiovascular Life Support) Providerコース  
成人の二次救命処置を学ぶためのグループ実践形式の2日間コースです。  
◎受講対象者◎医療従事者  
◎開催日◎平成21年4月25日・26日、6月20日・21日

## 催し物

- 農場生産物直販会  
◎日時◎平成21年3月17日(火) 10:30~13:00  
◎会場◎附帯施設農場(津市高野尾町2072-2)  
◎問い合わせ先◎附属教育研究施設チーム/☎059-230-0044
- 三重大学吹奏楽団 第53回定期演奏会  
◎日時◎平成21年3月5日(木) 開場18:00 開演18:30  
◎会場◎中京大学文化市民会館 プルニエホール(旧名古屋市民会館 中ホール)  
◎日時◎平成21年3月7日(土) 開場15:30 開演16:00  
◎会場◎四日市市文化会館 第1ホール  
◎入場料◎900円(当日1,000円) 高校生以下500円(当日600円)  
◎問い合わせ先◎矢頭/☎080-3646-3075  
Eメール [musb@mail.goo.ne.jp](mailto:musb@mail.goo.ne.jp) / URL <http://musb.web.fc2.com/>
- 命のメッセージ展 in 三重大学  
~伝えよう 感じよう 今も生き続ける思いを~  
犯罪やいじめ、交通事故などで生命を断ち切られた人達や、ご遺族の思いを多くのの方々を知っていただくためのアート展です。命の重さ、生きることの大切さを感じ取ってください。メインの展示は、ひとりひとりの等身大の人型と遺品の「靴」です。  
◎問い合わせ先◎平成21年3月20日(金)・21日(土)・22日(日)  
◎会場◎三重大学講堂 ホワイエ・小ホール ◎参加費◎無料  
◎同時上映◎ゼロからの風(500円)  
◎問い合わせ先◎教育学部 伊藤/☎080-5100-6150  
Eメール [207014@m.mie-u.ac.jp](mailto:207014@m.mie-u.ac.jp) / URL <http://inochi-mie-uni.com/>
- こはる展~三重大学教育学部美術教育コース~  
三重大美術教育コースの学生(58期)を中心に卒業生や教員が作品参加した展覧会です。  
◎日時◎3月26日(木) 13:00~17:00 3月27日(金) 9:00~17:00  
3月28日(土) 9:00~15:00  
◎会場◎三重県文化会館2階 第2ギャラリー ◎入場料◎無料  
◎問い合わせ先◎三重大学デザイン研究室/☎059-231-9275
- 第3回 CHORUS JOINT CONCERT  
附属幼稚園年長児有志・附属小学校音楽クラブ・附属中学校音楽部・三重大学合唱団によるジョイントコンサート  
◎日時◎3月29日(日) 開場13:00 開演13:30  
◎会場◎津市久居市民会館  
◎入場料◎800円(当日1,000円) 小・中・高校生500円(当日600円) 幼児200円  
◎問い合わせ先◎長谷川/☎090-2926-4281

お知らせには、予定のものも含まれております。ご参加・お申し込みいただく場合には、必ずHPなどでご確認ください。

# 三重大学伊賀研究拠点

4月3日オープン!!



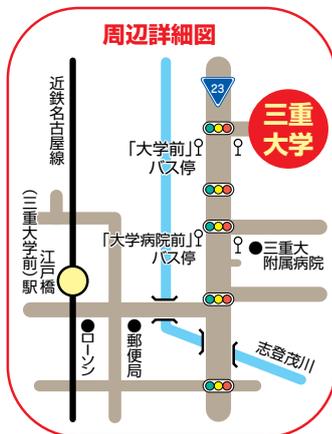
伊賀市ならびに三重県等と連携し  
環境・食・文化に関する  
研究の拠点として活動開始

## 三重大学伊賀研究拠点

〒518-0131 三重県伊賀市ゆめが丘一丁目3番地の3  
産学官連携地域産業創造センター「ゆめテクノ伊賀」内

TEL 0595-41-1071 (代)

<http://www.iga.mie-u.ac.jp/>



## 交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスステイ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
  1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
  2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

 三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577  
TEL 059-232-1211(代)  
<http://www.mie-u.ac.jp/>

MIE UNIVERSITY